

A区分・C区分共通  
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	演芸
----	------	----	----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	C区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	無	応募総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきしゃだんほうじんかみがたらくごきょうかい	団体ウェブサイトURL	
	公益社団法人上方落語協会	<a href="https://kamigatarakugo.jp/">https://kamigatarakugo.jp/</a>	
代表者職・氏名	代表理事・浅田晃一郎		
制作団体所在地	〒 530-0043	最寄り駅(バス停)	JR大阪天満宮/大阪メトロ南森町
	大阪市北区天満4丁目12-7		
電話番号	06-6354-7727		
ふりがな 公演団体名	こうえきしゃだんほうじんかみがたらくごきょうかい	団体ウェブサイトURL	
	公益社団法人上方落語協会	<a href="https://kamigatarakugo.jp/">https://kamigatarakugo.jp/</a>	
代表者職・氏名	代表理事・浅田晃一郎		
公演団体所在地	〒 530-0043	最寄り駅(バス停)	JR大阪天満宮/大阪メトロ南森町
	大阪市北区天満4丁目12-7		
制作団体 設立年月	1957年4月任意団体として創立、2004年8月社団法人設立、2011年4月公益法人移行		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表理事・笑福亭仁智 業務執行理事:桂米団治 理事・事務局長:關英栄、他理事27名、 監事:桂春若、他1名		○構成員:個人264名 ○加入条件:上方落語を業とする者、上方落語に付随する職業の者、上方落語以外の演芸家のいずれかで、理事会の承認を受けた者
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	田辺 真奈美
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	向井 良江
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	<a href="mailto:info@kamigatarakugo.jp">info@kamigatarakugo.jp</a>		

<p><b>制作団体沿革・ 主な受賞歴</b></p>	<p>戦後、上方落語は減んだと言われた時期を乗り越え、昭和32年、三代目林家染丸を会長とし、任意団体として発足しました。若き日の上方落語四天王(笑福亭松鶴、桂米朝、桂小文枝、桂春団治)も参加しており、現在に至るまで、ほぼすべての上方の落語家が所属する団体として、上方落語の上演普及、後進の育成に努めています。組織としては平成16年に社団法人化したのち、法制の改革に伴い、平成23年に公益社団法人に移行いたしました。</p> <p>平成18年には上方落語家の悲願であった落語専門の定席「天満天神繁昌亭」の運営をスタートしました。毎日、上方落語を上演している場所として、多くの方にご来場いただき、上方落語を楽しんでいただいております。</p>		
<p><b>学校等における 公演実績</b></p>	<p>○個別の依頼による学校派遣公演(修学旅行来阪時、宿泊先への派遣含む)  R5.4月 浜松市立八幡中学校  R5.5月 高岡市立福岡中学校、関西国際大学  R5.6月 ヴィアートル学園洛星中学校、大阪教育大学附属高等学校  R5.9月 大阪府立中央高等学校  R5.11月 京都府立楽水高等学校  R6.6月 大阪教育大附属高等学校、ヴィアートル学園洛星中学校  R6.7月 柏市立酒井根中学校</p> <p>○文化庁事業「地域における子供たちの伝統文化の体験事業」の開催  夏休みに地域のホールで落語鑑賞会と小唄や仕草・和楽器の体験といったワークショップの公演を実施しました。</p> <p>○定例の落語会を開催しておりますロームシアター京都にて、夏休みの子供向けイベント「ロームシアター京都プレイシアター！こども市民寄席」の開催</p> <p>○倉敷市文化振興財団主催 芸術家派遣事業への協力(平成25年度～)  倉敷市内小学校へ落語家を派遣し、落語鑑賞会と小唄や仕草・和楽器の体験といったワークショップを併せて実施しています。</p> <p>○大阪市伝統芸能(上方芸能)鑑賞会事業への協力(平成28年度～)  主に大阪市内小学生を対象に、定席「天満天神繁昌亭」の朝席において、落語鑑賞会を開催しています。</p>		
<p><b>特別支援学校等における 公演実績</b></p>	<p>令和3年度文化芸術による子供育成総合事業・巡回公演事業において、1校公演を行いました。  (6月16日 千葉県県立君津支援学校)</p> <p>関連施設:社会福祉法人大阪自興会(障害者支援施設)にて平成8年より年1回の落語公演を毎年開催</p> <p>R5.10月 京都府立盲学校高等部でも公演を行いました。</p>		
<p><b>参考資料の有無</b></p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="https://www.youtube.com/watch?v=faaq61kF768">https://www.youtube.com/watch?v=faaq61kF768</a></p>	
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p></p>
		<p>PW:</p>	<p></p>

別添	なし
----	----

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 公益社団法人上方落語協会】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	江戸時代から続く大衆芸能「落語」を楽しもう！			
企画のねらい	江戸時代から続く大衆芸能の落語ですが、昨今では江戸時代の文化等を知る機会が減り、身近な存在ではなくなりつつあります。今後ローバル社会で活躍するためにも、子供たちにまずは自国の大衆芸能「落語」をしっかり学んでもらいたく企画しました。			
演目概要・演目選択理由	<p>「寿限無」子供の幸せな成長を願う親が、教えられた縁起の良い名前全てをその子の名前としたため、成長後の日常生活で様々なハプニングを引き起こす。</p> <p>「動物園」死んだ人気者のトラの皮をかぶって、トラを演じる仕事に行った男が楽な仕事だと思っていたら、とんでもない結末に驚かされる。</p> <p>「時うどん」うどんの代金をごまかす所を見た男が、翌日自分もやってみようと、寸分違わず同じようにやってみるが、失敗してしまう。</p> <p>落語の演目には子供も登場します。子供の言動は今も昔も大きく変わらない事から、児童・生徒が情景を容易に想像し、楽しめると思っています。登場人物に自分を重ねながら、人の気持ちを考えたりすることにより、道徳的なコミュニケーション能力の向上にもつながると考えます。落語を見ることによって豊かな感性を刺激し、楽しみながら育む機会を提供します。</p>			
児童・生徒の参加又は体験の形態	<p>○小唄、仕草、鳴り物の体験</p> <p>事前に暗記した小唄を舞台上で発表してもらう。</p> <p>落語家の補助のもと扇子・手拭いを使った仕草を舞台上で実際に演じる。</p> <p>幽霊の登場シーンにおいて、幽霊・太鼓・ドラをそれぞれ児童・生徒が担当し、演じる。</p> <p>※上記の内容を中心に、開催校との協議により決定します。</p>			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	6人	
		鑑賞人数目安	300人	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>演目:「寿限無」、「動物園」、「時うどん」、他。</p> <p>原作:ほとんどの古典落語は原作者不明です。</p> <p>脚本:本公演で演じられる古典落語は江戸時代から継承される口演台本があるが、必ずしも明文化されている訳ではなく、師匠、先輩からの口伝によることが多いです。</p> <p>演出:師匠、先輩から習ったものを基本に、それぞれの落語家が独自の演出を加えます。</p> <p>鑑賞者が限定されている本公演のような場合は、鑑賞者の理解度に応じた言い回しや、適切な表現の演出を加えます。</p>			
出演者	<p>・ワークショップの発表会</p> <p>・落語</p> <p>・落語</p> <p>-仲入-</p> <p>・色物</p> <p>・落語</p> <p>落語家3名、色物1名、三味線1名</p>			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p>■笑福亭 生喬…1991年七代目笑福亭松喬に入門。平成12年なにお芸術祭新人奨励賞、平成24年第7回繁昌亭奨励賞、平成25年第8回繁昌亭大賞受賞。古典の持ちネタは100本を超える本格派。</p> <p>■桂 文三…1991年五代目桂文枝に入門。平成12年なにお芸術祭新人賞、平成22年第5回繁昌亭奨励賞受賞。明るいキャラクターで子供たちの心をつかみます。</p> <p>■林家 花丸…1991年林家染丸に入門。平成22年繁昌亭爆笑賞、平成26年繁昌亭大賞、文化庁芸術祭優秀賞、大阪文化祭奨励賞受賞。丁寧な語り口で、林家ならではのほんやりとした芸を見せてくれます。</p>			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 5 名	運搬	積載量: 1 t	
	スタッフ: 4 名		車長: 4 m	
	合計: 9 名		台数: 1 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		時間程度		
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出	
	8時	8～10時		13時～14時30分	10分	14時40分～16時	16時30分	
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。							
本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月		7月		8月		9月	
	15日						10日	
	10月		11月		12月		1月	
	22日		18日		15日		10日	
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					計		90日



↑【中学校での公演】体育館で生徒さんは直座りです。中学生は座高もある程度あるので、直座りでも問題ございません。寄席のような設えで、本格的な雰囲気のもと上方落語をお楽しみ頂けます。



↑発表を控える生徒さんが舞台袖で囃家からレクチャーを受ける様子。プロと同じ舞台に立ち、簡単な小噺や仕草の披露してもらいます。

公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



↑地域のイベント（別事業）にて。子供たちが和楽器の演奏を体験する様子。三味線の音に合わせて、1つの曲を合奏しました。



↑【小学校での公演】低学年は教室の椅子に座り、高学年はパイプ椅子に座っています。小学生は座高が低いので椅子に座っての鑑賞を推奨します。

著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある 場合	権利者名	許諾確認状況	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 公益社団法人上方落語協会】

ワークショップのねらい	落語は舞台上で演じるのは1人だけの芸ですが、その落語の世界を作るためには下座(お囃子)のサポートが必要不可欠です。普段は見られない演芸場の裏側をワークショップ公演では表で見てもらうことにより、チームで構成している芸だということを知ってもらいます。 また体験コーナーでは未経験へのチャレンジ精神を養うことや人前で表現することの楽しさ・難しさ、また目の前の人を楽しませる工夫をすることを期待します。 このようなワークショップ公演を展開することで本公演に向けて、より知識と興味を持ってもらうことと、将来の落語家を目指す人や将来のお客様が育つことを目指して実施します。		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	200名程度(2学年程度にまとめてもらうのが望ましい)
ワークショップ実施形態及び内容	<p>参加人数が少ない場合は教室・多目的室のような小さなお部屋を理想とします。 難しければ体育館での実施も可能です。</p> <p>【前半】上方落語の解説</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上方落語の成り立ち、特徴 ➡落語が始まったのはいつから？</li> <li>・江戸落語と上方落語の違い ➡同じ落語でも違いがあるの？</li> <li>・所作について ➡小道具となるのは扇子と手ぬぐいの2つだけ！</li> <li>・落語のはじまりである小唄の実演 ➡落語はここから始まった！</li> </ul> <p>◆体験コーナー 生徒さんにも舞台上でプロと同じステージに座り、唄家のように小唄を披露してもらいます。</p> <p>休憩(10分程度)</p> <p>【後半】お囃子紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上方落語に必要な和楽器の紹介 ➡一つずつ楽器の紹介をしていきます</li> <li>・一番太鼓、二番太鼓、バレ太鼓等、それぞれの意味を解説 ➡太鼓に込められたメッセージを知ろう！</li> <li>・ハメモノの効果 ➡上方落語にしかない「ハメモノ」。話の途中で効果音として楽器が使われます。</li> </ul> <p>◆体験コーナー 出囃子の演奏に挑戦してみよう！三味線の音色に合わせて叩いてもらいます。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等			

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名

公益社団法人上方落語協会

】

## ①本事業に対する取り組み姿勢

私たちの団体は落語の普及と継承を目的としています。  
落語は江戸時代から発展し、当時の文化や風俗を反映した話が多く、おじいちゃんおばあちゃんの楽しむものといったイメージが根強くありますが、決してそのようなことはありません。子供にも楽しんでほしいコンテンツです。

落語は1人で演じる芝居のようなものとして、背景の転換や、衣装替えもなく、1人の落語家が老若男女や、時には動物までも演じ分けます。鑑賞者にその演目の面白さを伝える過程は、演者の技量もさることながら、鑑賞者の想像力が必要不可欠です。

同じ演目でも、鑑賞者の想像力によって100人いると100通りのキャラクターがイメージできるといっても過言ではありません。落語家の口から出る言葉だけで、頭の中で場面を想像しながら展開していく流れは、子供たちの感性を豊かにします。

昨今では動画コンテンツが身近にあふれ、映像ばかりに頼りすぎる傾向にあり、頭の中で想像しながら次の展開を予測したりする機会の減少を感じ、危惧しています。  
江戸時代から続くこの大衆芸能の灯を絶やさないためには、将来の落語ファンの減少に歯止めをかけなければなりません。

この事業を通して、小さい時から落語に触れてもらい、落語の面白さを知ってもらうとともに、未来の落語家と落語ファンを育てたいと考えています。

本事業に対する  
取り組み姿勢、および  
効果的かつ円滑に実施  
するための工夫

## ②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

・公演開催に伴い、公演の確認事項や連絡事項をまとめたものを作成し、やり取りを最小限かつ、明確にしています。

・当法人の過去の開催実績から、参考となる写真を提示するなどして、舞台設営や公演内容のイメージをつかんでもらいます。

別添	あり
----	----

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名

公益社団法人上方落語協会

】

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

**①離島・へき地等における公演実績**

2023年10月に「統括による 令和5年度文化芸術による子供育成推進事業」で、佐賀県の五島列島・福江島に伺いました。他の学校に比べ寄席囲いなどの装飾はできませんでしたが、学校にあるもので工夫をして舞台を作り上方落語を楽しんで頂きました。

**②離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫**

**【離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫】**  
小唄や鳴物の指導は、少人数であればあるほどきめ細かく指導ができます。  
落語の舞台設営においては最小限で実施が可能であるため、高座を作るのは、畳や箱馬、会議机など学校にある備品をお借りし、設営する事が可能です。設営に伴う舞台スタッフもへき地においては演者自身で舞台設営が可能です。鳴物も同様に、三味線以外は学校に確認し、あれば借りる事で、こちらから持参するものを減らし、運搬費などの経費を削減出来ます。

**【小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫】**  
通常の学校で使用する寄席囲いのような大道具の持参は難しいですが、後ろ幕など、寄席のような雰囲気を出せる備品を持参して開催します。記載のとおり、ワークショップでは生徒の体験を主に展開するため、ワークショップの内容自体の質を落とす事はありません。

**③C区分応募における、費用面の工夫**

舞台セットはダンボール製の屏風を用意し、かさばらないようにしているので1台のハイエースに収めて運搬費用を工夫しています。  
また一人でも簡単に運べる重さなので、スタッフの人数も最小限で何うことができます。  
開催場所によっては舞台セットを運べなくても学校の中にあるもので有効活用し、場所も体育館のような広い場所ではなく視聴覚室などでコンパクトに開催することで雰囲気を壊すことなく実施が出来ます。当方からは後ろ幕(天満天神繁昌亭の高座)を持参し、寄席の雰囲気が出るような工夫をしております。【別添:写真資料あり】

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.5	【公演団体名 公益社団法人上方落語協会】
項公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出がわかる写真) 目内容	<p>↓こちらは小規模学校の公演で、音楽室にて開催しました。大きな舞台背景のセットを持ち込めないエリアでの実施になる場合、学校にあるものを中心に設けております。当方からは後ろ幕（天満天神繁昌亭の高座）を持参し、寄席の雰囲気が出るような工夫をしております。</p>	